

# みずのわ

学校だより  
【第8号】  
令和4年10月28日(金)  
石巻市立石巻小学校

## 【季節は秋から冬に】

朝に学区を巡視していたら、こここのところの寒さのせいかな、羽を広げたまま動かないトンボを歩道のあちこちで見つけました。触れてみると、動かないものあり、かすかに動くものあり、ついこの前まで大空を謳歌していた群れを想像すると、少しもの悲しさを覚えました。そして、

「自分の役割を全うしたんだろ。よく頑張ったな。お疲れさん。」

「アリが運んでくれるぞ。死しても役に立つんだからすごいな。」

と声を掛けたくくなりました。

こんな声を掛けたくなくなったのは、急に寒さが増したからなののでしょうか。それとも、教員生活の終焉を迎えている自分に意味付けをしたかったからなののでしょうか。いずれにしても、秋から冬に向かうこの時期が人を感傷的にさせるといえるのは、世の常なのかもしれません。

そんな感傷的な思いを持とうが持つまいが、確実に寒さは増していく訳ですので、冬に備えてすべき学校での安全対策等をしっかりやっていきたいと思えます。

## 【今日は大漁（大量）！？】

朝、不定期に、不定箇所を巡回しています。目的はいろいろあります。第一には子供への安全指導、そして挨拶指導、そのほか、危険箇所を探したり、地域の方々と挨拶したり、この時間の巡回メリットは計り知れません。

最近、袋を持って、たばこの吸い殻を中心にゴミ拾いしながら歩いています。なぜか、フィルターの色が紫と茶色の2種類の銘柄の吸い殻がいつも落ちています。きっと同じ人が同じ経路を歩きながらたばこを吸い、ポイ捨てするのでしょう。

学区の巡回を終え、ごみの入った袋は用務員が受け取ってくれます。

「今日は、大漁（大量）ですね。」

ある日、そう言われ、うれしいことなのか、かなしいことなのか・・・何とも複雑な気持ちになりました。

ところで、私たち教員は、子供たちに対して「知」「徳」「体」そして本校においてはそれらの基盤となる「食」について、バランスよく育成することを重要視していますが、そのためには、様々な環境を整える必要があります。施設・備品などのハード面や人的環境などのソフト面、さらに教育は学校だけで行われるものではないので、家庭や地域の教育環境も当然重要です。

そう考えたとき、子供が毎日登下校する道路に常にゴミが落ちていたら、たばこの吸い殻をそこかしこに見付けたら、子供はどう思うのでしょうか。

「ゴミは道路に捨てていいんだな。」

「たばこの吸い殻はポイ捨てするものなんだ。」

毎日毎日目にしていたら、それが頭に自然にインプットされ、このような考えに至る子供がいてもおかしくありません。

私は、「勉強はできるけどゴミをポイ捨てする子」に育てたくありません。「読書をたくさんして知識はあるけれど、友達にいじわるする子」にしたくありません。ですから、小学校段階では、「知」に偏重することなく、やはり「知」「徳」「体」「食」どれもバランスよく、しっかり養わせる必要があると思うのです。

それにつけても、家庭あつての学校、地域の基盤があつての学校ですので、教育環境の整備は学校内に留めることなく、子供たちのためには、やれる人がやれるべきことをやって子供を育てていく地域であることを今後も願います。

### 【全国学力・学習状況調査の結果】

もう2か月以上前のことになりましたが、今年度の「全国学力・学習状況調査」の結果が公表されました。結果だけ言いますと、本校は、下記のように調査教科全てにおいて全国平均正答率を上回りました。

(平均正答率 %)

教科	本校	全国	宮城県	石巻市
国語	76	66	62	62
算数	65	63	58	57
理科	73	63	60	59

昨年度も申し上げましたが・・・調査の結果は、もちろん悪いよりは、良い方がいいのですが、私個人としては、この数字をあまり過敏に比較すべきではないと思っています。しかし、世の中は、この平均正答率の値をもってして、「学力値」であるがごとく言ったり、県や学校の優劣を決め付けたり、大きな勘違いが横行しているような気がしてなりません。平均正答率で県や学校を比較していたら、これはもういつまでたってもキリがありません。

何より大切なことは、この結果を結果だけで終わらせることなく、学校としても個人としてもきちんと考察し、対策を講じ、子供一人一人の力を伸ばし、補うことだと思います。その点において、石巻市では、今年度から「学力マネジメント支援事業」というものを全市をあげて行っており、年2回実施する標準学力調査において、個々の達成度を確認するという取組を行っています。この取組は、“平均正答率”という追いかけても追いかけても追いつきそうにない数字を追うのではなく、子供一人一人の伸長にスポットを当てるといふ非常に意義のある取組だと思っています。



(劇スィミーで使用した) マグロのお面 平塚斗来也 作

子供一人一人はもちろん、学校全体としても子供たちがより成長できるための取組を職員一同、知恵を出し合い、実践していきたいです。

(校長／川田知宏)